

# HOOP

Hirono - Ookubo - Obiraki new education Plan

広野中学校区小中一貫教育校

～地域と共に教える育む **HOOP** 輪～

地



広野中学校

域



大久保小学校

がっちり  
連携



大開小学校

本校区では、義務教育9年間を通して、発達段階に応じた継続的な指導により、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むとともに、小学校と中学校のスムーズな接続を実現することをめざす小中一貫教育の研究に取り組んでいます。

## 小中一貫教育研究指定校

### 小中一貫教育研究指定校事業

宇治市においては、平成 24 年度から市立全小・中学校で小中一貫教育を実施することとしている。小中一貫教育の全面実施に先立ち、小中一貫教育を実施する学校運営体制及び教育課程等について調査研究を行うとともに先行的に実施し、その成果の普及を図るものである。

### 研究指定期間

平成 20 年度から平成 22 年度までの 3 年間

### 研究主題

「自分の気持ちや考えを伝え合うことができる児童生徒の育成」  
～ 小・中学校の円滑な接続と一貫した指導を通して～



### 小中一貫教育のねらい

- 1 9 年間を見通した教育課程を編成・実施することで、発達段階に応じた計画的・継続的な学習指導や生徒指導等を充実する。
- 2 小学校から中学校へ進学する際に学習内容や指導方法の違いなどを緩やかなものとして円滑に接続することで、入学後も生徒が安定した学校生活を送れるようにする。
- 3 幅広い異年齢集団の交流などを通して豊かな人間性や社会性を育成する。
- 4 小学校教員と中学校教員の相互協力関係を築く。
- 5 地域や保護者と連携した特色ある学校づくりを進め、魅力ある学校とすることで、地域や保護者とのきずなを深める。

### 研究課題

- 1 学校運営体制（学校経営方針等の設定、分掌組織等）についての研究
- 2 教育課程編成（日課表、学校行事、クラブ・部活動等）についての研究
- 3 小中一貫教育カリキュラム（宇治学、いしずえ学習、小学校外国語活動）についての研究
- 4 児童生徒理解（生徒指導、教育相談、特別支援教育等）についての研究
- 5 育友会・PTA 活動や地域連携についての研究

## ▶ 平成 20 年度の主な研究内容

### 1 学校運営部会

- ◆研究推進委員会の統括◆小中一貫教育の推進に係る連絡調整◆関係諸団体との連絡調整
- ◆小中一貫教育校としての「教育目標」「育てたい力」「学校運営体制や指導体制」などの設定

### 2 教育課程部会

- ◆合同研修会の開催◆授業参観、教材交流などの実施◆学級、学年通信などの交流
- ◆運動会、体育大会など、児童生徒、教職員の交流行事の実施
- ◆学習や生活の年間指導目標の設定や指導計画の作成◆年間行事予定表や校時表の共通版の作成

### 3 いしずえ部会

- ◆標準学力検査の分析を生かした学力向上◆小・中学校の学習を通じた「家庭学習の手引き」の作成
- ◆各種アンケート調査に基づく指導方法の工夫改善◆授業規律確立に向けた授業での約束事の共通化

### 4 宇治学部会

- ◆小・中学校の系統性を高めた「総合的な学習の時間」のカリキュラムの作成
- ◆「宇治学」としての年間15時間程度の指導計画の作成

### 5 児童生徒理解部会

- ◆学校生活アンケートに基づく教職員の共通理解及び児童生徒の不安解消に向けた取組
- ◆不登校対応としての早期発見や手立ての連携、協議◆特別支援教育での小中連携

### 6 その他

- ◆小・中学校の連携による小学校外国語活動の研究
- ◆地域と連携した取組の推進（合同講演会や標語募集の取組）

## ▶ 小・中学校のスムーズな接続を図る取組の構想

### ■ 小学校 6 年生では

#### 1 学期

- ◆中学校の授業見学◆児童・保護者に中学校紹介◆小学校クラブ活動で中学生が技術指導
- ◆児童会・生徒会合同会議◆中学校教員による中学校生活についての教育相談

#### 2 学期

- ◆中学校入学予定者学習・部活動等の体験◆中学校入学予定者保護者説明会◆中学校の授業見学
- ◆体育大会、文化祭等の中学校の行事への参加及び見学◆児童会・生徒会合同会議
- ◆部活動アシスタントティーチャー◆駅伝大会合同練習会
- ◆中学校教員による中学校生活についての教育相談

#### 3 学期

- ◆中学校で入学前のオリエンテーション◆部活動体験
- ◆中学校教員による中学校生活についての教育相談◆中学校の学習・テスト体験、作文

#### 春休み

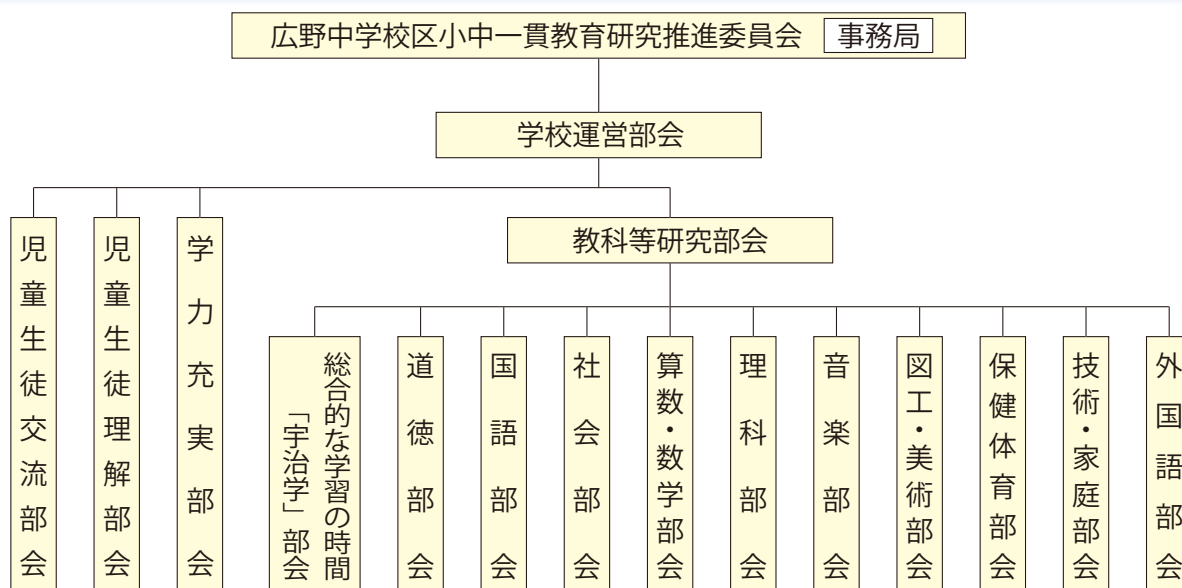
- ◆小学校の復習（国語・算数・外国語活動（ローマ字、アルファベット）等）
- ◆中学校での学習・生活相談◆児童生徒理解の教職員研修

### ■ 中学校 1 年生では

#### 1 学期

- ◆授業の受け方、家庭学習に関するオリエンテーション（家庭学習の手引きの活用等）
- ◆生徒会による新入生歓迎会◆部活動体験入部◆定期テスト前の全員補習及び学習質問会
- ◆家庭訪問、教育相談、三者懇談◆小中連絡会

## ▶ 平成 21 年度の研究推進組織（案）



## ▶ 平成 21 年度の研究推進項目（案）

- ◆ 9年間を見通した教科年間カリキュラムの作成
- ◆ 発達段階に応じた学習システムの構築
- ◆ 発達段階に応じた生活の決まりプログラム作成
- ◆ 小・中学校合同行事の開催
- ◆ 地域と連携した取組の推進
- ◆ 児童生徒の交流活動の充実
- ◆ 特別な教育的支援が必要な児童生徒や不登校傾向の児童生徒の情報交流
- ◆ 総合的な学習の時間の年間指導計画の作成
- ◆ ICTを活用した行事や授業の交流
- ◆ 小中一貫教育校（学園）の名称募集（公募）やシンボルマーク・校歌（学園歌）の策定
- ◆ 小・中学校が連携して行う小学校外国語活動の取組の推進



〈中学校学習体験〉



〈児童会・生徒会合同会議〉



〈部活動アシスタントティーチャー〉



〈駅伝大会合同練習会〉

## 平成 21 年度の小中一貫教育試行案

### 「いしずえ学習」の試行について

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るとともに、家庭学習とも関連付けながら、学びの習慣を身に付けさせることをめざして、小・中学校の学習を見通した「家庭学習の手引き」を作成し児童生徒に配布する。

また、小・中学校の教員が合同で指導方法の工夫改善について研究を進め、朝学習の時間等を活用した「いしずえ学習」を試行する。

### 「宇治学」の試行について

総合的な学習の時間の取組として、「宇治で学ぶ、宇治を学ぶ、宇治のために学ぶ」をコンセプトとしながら、地域とのかかわり、小・中学校の系統性を高めた内容となるように編成した小学校3年生から中学校3年生までの系統的なカリキュラムに基づき試行を進める。

小3：お茶に関する学習	小4：宇治の自然	小5：宇治の環境
小6：宇治の歴史や文化	中1：提言！宇治市の未来	
中2：宇治チャレンジワーク	中3：進路実現に向けて（自分探しの旅）	

### 小学校外国語活動の試行について

- 1 小学校教員とAETが連携した外国語活動
- 2 小学校教員と中学校教員（英語科担当）が連携して指導する外国語活動
- 3 小学生と中学生がいっしょに活動する外国語活動

### 小学校高学年における「教科担当制」の試行について

【ねらい】

- 1 教員の専門性を生かした教科指導により、児童の学習意欲を高め、学力の充実向上を図る。
- 2 中学校での学習形態への急激な変化を緩和し、小学校から中学校へのスムーズな接続を図る。
- 3 教員間の緊密な情報交換や連携により、多面的な児童理解を進め、児童一人一人の個性の伸長を図る。

#### 【平成20年度の実践例】

	月	火	水	木	金
1	国語	国語	国語	国語	算数
2	算数	理科	家庭	算数	社会
3	家庭	音楽	社会	図工	体育
4	社会	総合	体育	図工	理科
5	学活	算数	算数	音楽	道徳
6		クラブ		書写	総合

平成20年度は、5年生で1/3程度、6年生で1/2程度の授業時数を学級担任以外の教員が指導する体制をとった。

左図は6年生のクラスの時間割であるが、色を付けた部分で学級担任以外の教員が指導にあたった。

算数は中学校の小中連携加配教員が担当、理科・音楽・体育は、6年生の学級担任間の交換授業、家庭科は教務担当教員が、書写は1年生の学級担任が担当した。

### 小・中学校教員による学校間出前授業の試行について

中学校数学及び理科を担当する教員が両小学校へ出向き、算数及び理科の授業を行う。また、体育や音楽などの授業についても同様に中学校教員が小学校へ出向き授業を行う。

さらに、小学校教員が中学校へ出向き、小学校教員と中学校教員がチームティーチングにより、道徳や特別活動の指導を行う。

# 広野中学校区における小中一貫教育校としての教育（案）

## 小中一貫教育校としての教育目標

夢や希望をもって未来を切り拓ける児童生徒の育成

## 9年間で育てたい力（めざす児童生徒像）

- ◆自ら学び考える力
- ◆豊かな人間関係を築ける力
- ◆健やかな体で粘り強くやり抜く力
- ◆自分の生き方を求めていく力

前期				中期			後期	
小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
学級担任制						教科担任制		
これまでの小学校の良さを生かし、きめ細かな指導による基本的な生活習慣の確立や、学習における基礎的・基本的な内容の定着を図ります。				小学校生活から中学校生活へのスムーズな移行が図れるよう、小・中学校の教員が協働して、指導に当たります。これにより、学力の充実・向上を図るとともに、社会性や規範意識を培います。			義務教育9年間の総まとめの期間として、個性と能力を伸ばし、自己実現に向けた積極的な態度を育て、希望進路の実現を目指します。	

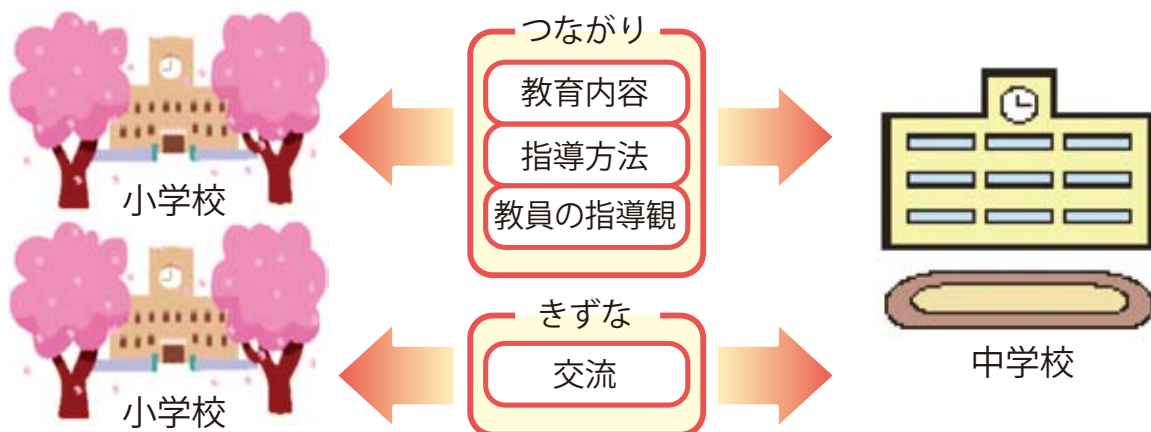
## 小中一貫教育のコンセプト

- ◆9年間を見通し連続性・関連性・継続性を意識した取組を進める。
- ◆小・中学校の円滑な接続をめざした取組を進める。

小中9年間を通し、「つながり」「きずな」の中で学ぶ

# NEXUS

New Education 「新しい教育」 X 「融合」 Uji System 「宇治のシステム」



## 広野中学校区小中一貫教育研究推進委員会

### 広野中学校（事務局）

611-0031 宇治市広野町尖山 3  
 TEL 0774-39-9170  
 FAX0774-39-9171  
<http://www.uji.ed.jp/hirono-jhs/>

### 大久保小学校

611-0031 宇治市広野町中島 1-1  
 TEL 0774-39-9134  
 FAX0774-39-9135  
<http://www.uji.ed.jp/ookubo-es/>

### 大開小学校

611-0031 宇治市広野町大開 35  
 TEL 0774-39-9136  
 FAX0774-39-9137  
<http://www.uji.ed.jp/oobiraki-es/>